



O TOKUEI ZERRES さん

<ボリビア>

真珠はしなやかで美しい

「いつも美しい光を放つ真珠が大好き」というセレスさんは、ボリビア総領事夫人。南洋真珠、淡水真珠など粒の大きさ、色によって変化がつけられ、どんな装いにもマッチする真珠は、毎日のようにあるパーティーやレセプションには欠かせないパートナーとなっている。

生きていく以上何か仕事を、と想っていた大学時代に知人に頼まれたのがきっかけで真珠を扱い始め、今でも輸出するものには必ず目を通す。ウエストを絞らない最新流行のチャイナドレスを飾る大きな真珠とともに「仕事が生きがい」と語るセレスさんは輝いている。



ボリビア領事館にて



ガブリエレ・ヴェーバーさん

<ドイツ連邦共和国>

パールはきれいで大切なもの

3月9日、来日したばかりのヴェーバーさん。神戸の街は、ヨーロッパにいたような雰囲気でも過ごせる、とすっかり気に入られた様子。女性的な優美さがあり、控え目な真珠が大好きだった彼女が、初めてつけた真珠が、今日つけている2つのネックレス。9年前、叔母さんからプレゼンされたもので、肌身離さず大切にしている。

副領事夫人として、文化活動、情報活動の仕事を広げるため、今は辞書を片手に日本語を特訓中。“日本にいた間に、何連にもなった真珠をつけてみたい”と真珠ファッションにも意欲的でした。



神戸文化ホール前にて



チユンヨンミ    チユンミ    キヨソジヤ  
 田容美・春美・慶子さん

<韓国>

# パールで装うチマ・チヨゴリ

パール、グリーン、ピンク。鮮やかな民族衣装で現われたのは、韓国海外地区J.C会長崔鐘太夫人田容美さんとその妹、春美、慶子さん。「両親からの贈り物にダイヤをあしらひ、オリジナルの指輪にしました。イヤリングもオリジナル」と容美さん。「私は結納でいただいたものです。結婚を境に、真珠って身近になるみたい。」と春美さん。ただ今花嫁修業中の慶子さんは「成人式のお祝いに、両親から指輪をいただいたのが初めての出会いです。」思い出深い真珠を身につけた三姉妹は、「真珠って、チマ・チヨゴリに一番ピッタリね。」と微笑んだ。



韓国会館にて。左から容美、春美、慶子さん



張 莉娜さん

<中国>

## 真珠の良さを再認識

両親が経営する裏滝道の中華料理店「小燕京」の看板娘。えくぼの笑顔が素敵で、さぞかし彼女目当てのお客さんも多いのでは…。

このネックレスは、真珠会社に勤めるおじさんから買ったもの。今所有しているのはこれだけだが、「真珠は、やはりすたりのない一生もの。お嫁入道具の一つとして中国でも人気があります。個人的には暗いイメージを持ってたけど、チャイナドレスにもよく似合うし、再認識させられました」と、これからコレクションも増えそう。  
真珠の輝きもかすんでしまうほど、明るく魅力的なお嬢さん。



下山手の中国寺院「閔帝廟」にて



デール・フォックスさん

<ニュージーランド>

## 英語の先生のネックレス

来日して一年半になるデールさんは、語学学校で英語を教える一方、太極拳やダンスも大好きという活発なレディ。また先日はブティック「魔女」のショーモデルも務めた。

ボーイフレンドにゴールドとパールを組み合わせた指輪をプレゼントされ、すっかり真珠に魅了された。

「エレガントな真珠は、ドレスアップした気分にしてくれる、ハイクオリティなアクセサリーね。今度は小さい粒の短かいネックレスがほしいわ。」彼女の白い肌には、真珠の持つ繊細さがよく似合う。



異人館倶楽部「ブティック魔女」の前で（真珠提供・木下真珠）



## アイリーン&エリカ

〈オランダ〉

# おばあ様からの贈りもの

アイリーンとエリカは、オランダ人の父と日本人の母を持つ。今春CBS・ソニーからレコードデビュー。母方のおばあ様はおしゃれで  
大の真珠好きだった。彼女たちが生まれた時のお祝いは、それぞれの  
孫に贈られた真珠だった。写真のブレスレットは十六才の誕生日のお  
祝い。——おばあ様からのお祝いや記念品は必ず真珠であった。  
「真珠ってシンプルで年令に関係なく身につけられるでしょ。どんな  
洋服にも合うし、あきるってことがないんです。」とお気に入り。上京  
して本格的に歌手として、テレビ・ラジオに活躍する日も近い。



ポートアイランド北公園で姉のアイリーン（右）と妹のエリカ



ポリサ・シューエケさん  
〈シリア〉

## フォーマル & エレガントに

明治29年に建てられたシューエケ邸は、緑と白の配色が美しいロマンチックな異人館。現在、一部が公開されており、ポリサさんはシューエケ夫人として館の運営などを取りしきっている。

「主人と一緒にシリアから神戸に来て約50年。貿易商という仕事柄家の中では世界の調度品でいっぱい。この真珠も今ではほとんどしなくなっただけで、とても珍しいものですよ。」と笑いながらも、サラリと豪華な真珠をつけこなしてしまわれるあたりは、さすが、永年積み重ねたおしゃれの風格がにじみでているようだ。



シューエケ邸をバックに



新谷パトリッツァさん

<イタリア>

パールの上品な味わいが好き

ベネツィア出身のパトリッツァさんは実は空手二段という腕の持ち主。「子供に影響されて始めたんですが精神面にも非常にプラスになりますね。」今日は、エレガントながらスポーティブな白のワンピースの装いで、さりげなくまいたパールのブレスレットがお洒落。

「イタリアの父が買ってくれたもので古い品ですがとても気に入っています。」真珠の持つ上品さやエレガントさがお好きで、入学式や卒業式など欠かさず身につけられるとか。金髪と白い肌に真珠がとても映え、ご主人の新谷琇紀さん（彫刻家）が一目ぼれでプロポーズしたという話も領ける。



ファッションタウンのキムラタン1Fロビー、新谷琇紀氏作品前にて



ウマイマー・バーマさん  
<インド>



田崎真珠本社ロビーにて<真珠提供/田崎真珠>

## 真珠は幸運を招くジュエリー

インドのボンベイから来神して今年で十八年になるウマイマーさん  
貿易関係の仕事をされる御主人と結婚し、二児の母となった今でも  
英語教師を続けられている。「パールは、シンプルなものにもゴージャ  
スなものにも似合うし、朝でも夜でもつけられるのでとても好きで  
す。」とチャーミングな笑顔と流暢な日本語で話される。

インドでは結婚する時には必ず真珠とゴールドを持っていくとい  
う。「パールは幸運を招くジュエリーで、国ではどんな方でも一つは  
持っています。」紫のサリーに真珠とアメジストのネックレスがとて  
もゴージャス。



杉本ジョスリンさん

<アメリカ>

トラディショナルなつけ方を

来日されて二十年。神戸女学院で三年間英語を教えた後、伊丹に勤務されている御主人と結婚。式はアメリカで牧師をされるお父様の手で挙げられたとか。現在は西宮にお住いで、先日行われた大里最世子さんのファッシュオンショーにモデルとして出演。「パールはとてもフオーマルなジュエリー。教会に行く時、入学式、卒業式などにオーソドックスで品良くつける事になっています。」黒真珠がラベンダー色のスーツによく映えている。「良い品を大切にすることが本来のアメリカ式考え方です。」人柄のにじみ出た笑顔がとてもチャーミングだ。



北野町にて<衣裳提供・ブティック魔女>



ノーリン・バイリスさん

<オーストラリア>

## 憧れの宝石は、日本の真珠

純白のドレスに身を包んで表われた、ノーリンさん。5月の神戸まつりで、ミス・ブリスベンに扮し、愛くるしい笑顔をふりまいたばかりなので見覚えのある方も多はず。

交換社員としてオーストラリア・ブリスベンから神戸ポートピアホテルに勤務して3カ月、すっかり神戸の生活にも慣れた様子。「オーストラリアでは、真珠はとても高価な日本の宝石というイメージ。あまり身につける機会はなかったのですが、いつも憧れていました。」可憐な淡水真珠がショートカットに映えて、とてもお似合い。



神戸ポートピアホテル・ロビー 大輪田にて

話題のひろば

<I>

# ■映画記念碑除幕式前夜祭 多くの人々の 協力に感謝!!



(上左より) 東伸一矩さんのフラメンコ、挨拶された服部正さん、笹川助役、長島隆会長  
(下左より) パーティに出席した人々による記念撮影、原清朝日放送会長と談話する長島会長

昭和58年、淀川長治さんの募金第1号から始まり、様々な人々の協力によって「映画記念碑」がメリケンパークに「メリケン・シアター」として完成。4月29日の除幕式を前に、28日の夜、記念碑の建設に関わった人々を招き、タワーサイドホテルにて、前夜祭のパーティーが行われた。

「映画記念碑が完成できたのは何と言っても、今日ご出席されている方々の御協力のおかげで、深く感謝しております」との長島隆映画記念碑を建てる会会長の挨拶に続き、寄付をした人々を代表して土井芳子さんが「想像していたものより、はるかに素晴らしい記念碑ができました」との祝辞を、また服部正さんも「まるで宇宙から来た隕石のようですね」と感想を。寄贈される神戸市を代表して笹川助役「われわれには、ちょっと考えつかないものです」との挨拶の後、当日は欠席した環境造形Qのメンバーに代わって、山口牧生夫人が記念品を受与した。

また、ゲストの東伸一矩さんのフラメンコに、パーティーに出席した約50名の人々も感激。

パーティーには、望月美佐さんや嶋田勝次さん、佐本進さん等をはじめ、原清朝日放送会長も出席多彩な人々が集い、メリケン・シアターの完成を祝った。

# ■神戸開港120年記念式典開催 国際色豊かに 開港120年を祝う

5月12日(火)、神戸・ポートアイランドの神戸国際会議場メインホールにおいて「神戸開港120年記念式典」が挙行された。

満員の会場の中、舞台上では姉妹港を代表して、R・デン・デュネン氏(ロッテルダム代表)、ジムライト氏(シアトル港代表)、祝縁氏(天津港代表)をはじめ、宮崎辰雄神戸市長、貝原俊民兵庫県知事、石野信一神戸商工会議所会頭、橋本龍太郎運輸大臣らが出席して進められた。

式辞・祝辞のあと、今までの神戸港の発展に貢献した港湾功労者の表彰が行なわれ、中井一夫元神戸市長ほか48名が宮崎市長より賞状を手渡された。加えて、シアトル、ロッテルダム港との姉妹港提携20周年を記念して、神戸港からは石燈籠、シアトル港から木製イーグル像、ロッテルダム港からブロンズ製マールがそれぞれ交換された。

最後に、まつり太鼓によるアトラクションで盛り上がり、閉会となった。

また、NHK「NC9」のキャスターである木村太郎氏により、「国際協調化時代を迎えて」をテーマに記念講演会もあり、みなと神戸にふさわしい、国際色豊かな式典となった。



右上/神戸開港120年記念式典舞台上で祝辞を述べる貝原俊民兵庫県知事 右下/着物姿のお嬢さんから花束を受ける、ロッテルダム、シアトル、天津の三港の代表者たち 左上/宮崎市長より神戸市政特別功労賞を表彰される中井一夫元神戸市長 左下/満員の会場

話題のひろば

<III>

# 新たなオリエン ト学への期待

■兵庫オリエン特協会が発足

四月十九日、兵庫オリエン特協会設立総会が中央区の神戸市立博物館ホールにおいて行われた。冒頭、上島達司副会長が、この日、中国に旅行中の中内功会長のメッセージを代読、続いて副会長の打間奈津子さんが設立への経緯を報告。「神戸は多国籍の人が集まる国際都市。今後ますます国際交流の輪を広げたい」と話し、同じく副会長のジェイ・グラックさんもスピーチ。

会に引き続き続いた「第一回オリエン特セミナー」では、まず作家の陳舜臣さんが「シルクロードの周辺」と題して講演。シルクロードのもつ意味は、様々な「刺激物」が東西を行き交ったこと。文化は交流し、異文化への反応が新しい文化を形づくると、日本とシルクロードの関わりを興味深く解説。

次に日本オリエン特学会名誉会長の三笠宮崇仁殿下が、日本におけるオリエン特研究について講演「オリエン特」の語源説明から始まり理路整然と論を展開された。

特に兵庫オリエン特協会については、広くアジア全般にわたって神戸ならではの研究をぜひやって欲しいと激励。

講演後は、和やかなティーパーティ。記念撮影などもあり、この日参加の二百名余りが、協会の発足を祝った。



左(上から)上島達司、打間奈津子、ジェイ・グラック各副会長、右(上から)オリエン特の語源を説明される三笠宮殿下、和やかな談笑(右から三笠宮殿下、藤本ハルミ<デザイナー>岡田美代<演出家>佐藤廉<元映画館主>、陳舜臣の皆さん)

話題のひろば

<IV>

# ■ゴーフルデーに開かれた第1回 アマチュア手づくり 洋菓子作品展



右上は約90点の力作の中から真剣に採点する石坂画白ら。左上はハワイ行の社長賞を受けた和田三恵子さんと中央は作品。  
右下はゴーフル賞の人々。左下は司会の道上洋三さんも最終審査に加わって。

「神戸風月堂」(下村光治社長)の、ゴーフル・ポートピア88(ポリーアイ・ファッシュオンタウン)で、5月5日の子供の日に、第1回のアマチュア手づくり洋菓子作品展が開催された。

お菓子好きの神戸らしく作品は約90点の力作がずらりと4階ソレイユホールに大集合。午前中から審査員は下村社長、石阪春生画伯、山本芳樹美術研究家、小泉本誌副編集長の他、風月堂の洋菓子スタッフが、デザインをまぜ採点。

午後はゴーフル劇場で人気アナの道上洋三さんと立花由紀さんのコンビで一次を通過した36作品を味の点から採点。ディテールを凝った日本人の作品と、外国人達の腕自慢の大人の味に最終審査ではオリジナリティも重視して採点。

協議の結果、社長賞に人形作家和田三恵子さんのメルヘンなクッキーの館が入賞しハワイ行を獲得。

ゴーフル賞にはタルトのMrsグラハム、クッキーのMrsジュリエケ、チョコレートケーキのMrsパークさんらに、根本由美子横山貴美子、佐藤由紀、酒匂美千代さんらが入賞。ブテイゴーフル賞は同志社女子大の桶谷晴美さんのゴーフルの好きやねんどを女生大生30人にアンケートしてグラフィ化したクッキー。全体的にいかにも神戸らしく来年在が楽しみだ。

話題のひろば

<V>

■第二回世界女子学生会議開催

## 「働きながら生きる」 テーマに熱く討論

女性が社会進出へかける意欲は年々高まり、その能力を最大限に活かす場が求められる一方、あらゆる面で国際化が進行している現在、国境を越えて同じテーマで語り合おうと「第二回世界女子学生会議」が朝日新聞社、朝日放送の主催、田崎真珠の協賛で5月16日、神戸国際会議場・メインホールで開催された。

今回は「HOW WE WANT TO WALK——働きながら生きる」をテーマに各国十一人がパネリストとして参加。「現在は国を中心とした社会から全世界的な国際協力への過渡期。日本人はどのようにに参加すべきか学ぶべき点がある」との永井道雄氏の基調講演とホーリ・シバート氏の「女性が働き続けるには男性とのパートナーシップが大切」との特別講演の後、パネリストがテーマに基づきプレゼンテーション。

第二部では会場参加者も混じえた討論となったが、今年「働き続けながらも結婚して家庭を持ちたい」といった、女性としてより多くの望みを実現させたいとの意見が主流を占めた。

尚、本会議に先立ち、十四日には田崎ホールで前夜祭が催された。貝原俊民兵庫県知事、原清朝日放送会長、田崎俊作田崎真珠社長のあいさつに始まり、華やかな国際親善のパーティーとなった。



<左上>永井道雄教授、ホーリ・シバート氏<左中>バレリー・ゴードリアンさん(フランス) グーリ・ムカージェさん(インド)  
<左下>美坂薫さん(日本) ジュン・アン・E・ルザレさん(フィリピン) <右上>会場風景<右下>キャサリン・プロドリッ  
ク神戸女学院教授の司会でディスカッションする各国パネリスト

## ★異人館でファッションショー

5月14日、あいにくの雨もようだったが、北野の香りの家オランダ館は女性客でいっぱい、華やかな雰囲気包まれていた。

KFM(コウベ・ファッション・モデリスト)会員の大里最世子さんのデザインする「ブティック魔女」のショー「ニットとサマールコレクション」が開催された。

今年は「リゾート」がテーマだけに、鮮やかな花のとびかうプリントが主流。パリ、ロンドン、ミラノから届いただけあって、カ



南の島へ出かけよう

ラフルな色調が、南の島をイメージさせる。また今度のショーではモデルがユニーク。アメリカの夫人、ニュージランドの英語の先生、元宝塚歌劇団の女優さんなど、各国のヤングからマダムまでの素人の女性が務めたが、キャラクターが楽しい。この夏の、サマールコレクションのおしゃれ対策にぜひ。

## ■ブティック魔女 電話222-11773

★汗に強くシワになりにくい

シルクをもっと気軽に着てみませんか。ここ数年天然繊維の良さ、なかでもシルクのもつ優雅さ、美しさが再発見されている。

関西では三ツしかない「シルク専門店」が神戸に二店あり、本物志向のファンに人気を呼んでいる。加納町二丁目にある「神戸シルクセンター」は、レディスだけでなく、メンズの着やネクタイ、和装小物やニットなどさまざまなシルク商品が揃っている。

「糸も染めも全部国産です。シルクと聞くと手入れが大変だ、黄ばむと思われる方も多いと思いますが、もっと気軽に利用して頂きたいですね。夏は涼しく冬は暖かく着れるし、型くずれもない、今のシルクは家で簡単に洗

えるんですよ。汚れがとれやすい、吸湿発汗が良いということで単身赴任の男性のお客さ



京兼伸枝店長

まも多いです」と店長の京兼さん。いまシルクは、現代の感性にマッチした製品が続々と登場しているようだ。

■神戸シルクセンター 中央区加納町2-1-1 電話(078)261-0469

## ★「パールボジション」デビュー

モナコのスチファニー王女がデザインした水着を中心とした昼から夜までのリゾートウェアが4月29日と30日、大丸百貨店でモデル4人によって紹介された。発売して初年度でパリ水着売りあげNo.1となった「パールボジション」の水着は、自由な感覚でカラフル。デザインは品があり、洗練されていて質、機能とも確かというのが人気の秘密だろう。今年の水着の傾向は、ヤングにはカジチュア



ユニークなデザインとカラフルな色調が人気

ル志向でレトロ感覚をとり入れているもの、色も白黒やビビット感覚が主流。

アダルトには、セクシーでモダンなエスニック調。どちらもワンピースが主流で、それに何かプラスアルファして水辺を楽しむというセットファッションが好評だ。お求めは大丸神戸店です。

## ★花王のソレアコレクション誕生

「ソフィア」の花王からまた新しい商品が発売された。現在、若い世代には「朝のシヤリ」を欠かさない。週末にはきまってるスポ

ーツを楽しむ。肌の手入れや身だしなみに気を付け、清潔さをおし。これの基本とする。ラ



微香系(左)爽香系の「ソレア」の二種類。

顔やシヤリのあとなど日常的に使え新しいタイプ。香りもナチュラルな微香系の「パールボジション」と、爽香系の「ソレア」の二種類。

■この商品を十名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記の上、神戸っ子「ニベア花王」係まで

## ★シルクに包まれて

シルクの肌ざわりは、女性の永遠のあこがれ。高級イメージとともに、手間のかかる手入れた敬遠されがちだったシルクを専門に扱ったシルクショップ「アップ」がポートピアホテル内のパレリアンカにオープン。浜松に本社のある株式会社ムトウが、従来のカタログ販売から、ショップ販売に乗り出し、静岡、浜松に続いて神戸が3店舗目となった。



品揃えはアウター主流、シンプルなデザインなので何にでも合わせやすく、中国シルクだから手頃なのが嬉しい。

いいものだからこそ、一回ずつこまめに洗濯する。上手にきれいに、やさしく、シルクをあなたにののししてみませんか。

優しい素材でアンギャルドに。今年はシルクにチャレンジ。

■マドリス 電話(078)303-9967 10:00-19:00 無休

'87 SUMMER SERIZAWA COLLECTION



夏の白と黒。  
ますます優しくなりました。



serizawa

KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

**MISSONI**

LA 私のお気に入り  
**PREMIER**

カラーの楽しさを着る

田中慶子さん  
（ミストリメテイツクス  
 インターナショナル  
 マーケティング・マネージャー）

鮮やかなパープルのニットがとてもよくお似合いの田中さんは、化粧品会社のマーケティング・マネージャー。さすがに色のことについてはよくご存知で、ドレスとメイクの色を合わせてトータルに楽しんでおられる。メーカーも洋服も色使いは同じで基本的な色の中に遊びを見せるのがコツだとか。カラフルなミッソーニの服を着こなすのも、なるほどと頷いてしまう。

「仕事柄、出張も多く、シワにならない素材の服はとても便利ね。特に働く女性にとって機能的であるということは必須条件。だからといっていわゆるスリットではあまりにも固すぎるし。女らしいラインを保ってなおかつ機能的、そして楽しさまで取り入れているミッソーニは現代女性のフイーリングにぴったりの服。ぜひ皆さんにも着てほしいわ。」と働く女性、おしゃれの先輩としてのお話が次々に飛び出ます。おしゃれを楽しむためにシェイプアップにも余念がない田中さん、美しさの秘訣は毎日の緊張感かもしれない。



ROYAL  
 SALON  
 パレロアイアル

新館5F

**SOGO**  
 SANNOMIYA KOBE



ワンピース 110,000円 スカート 38,000円



神戸開港120年記念シリーズ  
—近代洋風建築を訪ねて—



## 海岸通界隈

PHOTOGRAPH BY  
HIROTSUGU TAKAHASHI



地方都市が独自性を失い始めた今日。  
旧居留地とその周辺には、歴史的風景が残り立ち並ぶ近代建築の端正なたたずまいには、人々の匂いや手のぬくもりが感じられる。ビル一つ一つのディテールには物語があり、ランプ一つにも神戸の歴史と繁栄とが写しだされている。個性あふれる都市空間「らしき」。ここに、港町神戸らしさ、そのものが存在するように思えてならない。

高橋 裕嗣  
たかはし ひろつぐ

1947年 2月15日生  
1970年 日本大学芸術学部卒業  
1970年 味竹中工務店入社  
1974年 味竹中工務店退社  
1974年 スタジオ・アーチ設立  
建築写真撮影

KOBE EXCELLENT SHOP

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9

★世界のオシャレをお届けする

ウネ  
KOBE LINE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★婦人帽子

maxim  
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品ブティック

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御褒衣縫上處

神戸シヤツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★世界のチョコレート

一番館

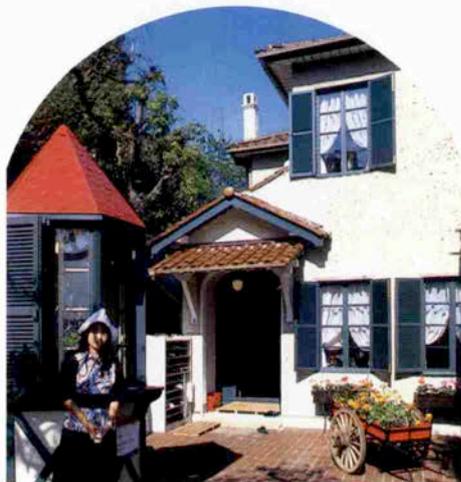
神戸市中央区元町本通1丁目8-5 ☎391-3138

※このシリーズは上記9社の専門店の提供によるものです。





東南の庭にて。モデル——《まさ加古川店》お客様、奥田富美子さん。スーツ/ビバシェリー ¥24,800



異人館……香りの家オランダ館

花の国オランダにちなんだ色とりどりのチューリップや、四季の花に囲まれた前庭と、2階建ての木造は大正中期の寄せ棟造り。長い間オランダ総領事邸として使用され、その後ウォルヒン氏が住んでおり今年の1月より一般公開されました。窓際のサンルームには「香りの部屋」があり、調香師の方がオリジナルな7つの香水や、あなた自身の香りを創作してくれます。



さんちか店 (078) 321-4545  
 宝塚ファミリーストア店 (0797) 73-5359  
 千里阪急地下街店 (06) 831-0756  
 須磨パティオ店 (078) 792-5652  
 加古川店 (0794) 25-5514  
 E / H / T I Q U E (078) 331-0950

美しさには理由があります。〈6月〉



サマースーツと、ひと口でいっても、素材もスタイルもいろいろです。おしゃれなシルク、フォーマルなウール、そしてカジュアルな感覚のコットンそして麻。素材はさまざまでも、サマースーツの着こなしのポイントはいつも同じ。カチツとした仕上げ感のものを着ること。シルクでも、麻でも同じです。そのためには、着た後、必ず目を通し、湿気を抜き、とれないシワはプレスでスッキリさせる。サマースーツのおしゃれは、着用後のあり方で決まります。



本社 / 神戸市灘区記田町1丁目2-16  
078-851-2440

■大阪支社 / 06-853-1332 ■つかしん店 / 06-420-3754 ■ロープ・ニシジマ / 078-332-2440  
■山手店 / 078-221-2440 ■宝塚店 / 0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル / 078-221-9110

# ORIENTAL HOTEL ビヤガーデン

“レトロ&モダン”で小粋にね!

今年のオリエンタルホテルのビヤガーデンは、名づけて“レトロ&モダン”。古き良き時代から愛されてきたなつかしのメニューに加え、今人気のメニューがズラリ。音楽も50～60年代のサウンドと新しいサウンドをDJが、おしゃべりを混じえてお届けします。

I LOVE BEER

MENU

- キリン生ビール
- 日本酒
- チューハイ
- ウイスキーなど



ビール大好き人間  
集まれ!

- とろろん
- 肉天焼
- アサリワインむし
- エビフライなど

5/25(月) ⇨ 8/29(土)

日曜定休

3階屋上庭園

5/25～6/20……17:00～20:30  
6/22～8/15……17:00～21:00  
8/17～8/29……17:00～20:30



神戸オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25

TEL.078.331.8111 内線1280

# オールスタイル MODEPIA

モードピア

ファッショントウ都市神戸の顔であるファッショントウ。そこには、パレル業界だけではなく、衣食住のジャンルを超えて文化を創造する企業の社屋が林立している。そして、もっぱら機能性や合理性のみを追求した現代の冷たい都市風景をよそに、それぞれ独自の理念や理想のシンボルとして個性的な表情を見せている。そのファッショントウの中でも、今話題を集めているのが、6月6日にオープンするオールスタイルグループの本社ビル「モードピア」である。ファッショントウのほぼ中央に位置する空間には、その斬新な建築に加え、彫刻やステンドグラスなどのアートも大胆に取り入れられ、ビルといふよりは「神殿」と呼ぶにふさわしいたたずまいを見せている。



「個性の香り高い文化を創造、蓄積していく理想的な都市を」と「モードピア」への夢を語る川上会長

川上 構成は浜野安宏さんでしたね。私がその夢を浜野さんのとこへ持っていったら、映画や模型を作ってもらいました。浜野さんは当時日本ではまだ無名でしたが、国際的センスを持ってましたね。しかし、新年会で発表した時は、ただの夢物語だと言われて、日刊紙などはあまり取り上げてくれません

と、常に新たな夢を実現させてきた氏の「美の哲学」をうかがってみた。

■神戸を  
ファッショントウの街に

— K.F.T.A.を作られたのが、確か昭和47年12月でしたね。

川上 そうです。当時、神戸洋秀会と神戸ブラウスグループが一つになろうという話があったんですが、それならいっそもっと大きく、神戸を世界に誇れるファッショントウの街にし

ようとう  
私が初代会長に就任したんです。そして翌48年の新年会で発表した、そのための8大目標の中でファッショントウの建設をうたったわけです。

— 当時の業界の様子はいかがでしたか。

川上 まだ規模は小さかったですが、みんな若かったので生き生きしてましたね。そのパワーがファッショントウの建設を実現したんです。

## いま。 愛の讃歌



SCULPTURE  
BY  
YUKI SHINTANI

でした。(笑)

それが15年を経て大きく実って

川上 ええ、しかしまだ夜明けです。本当の発展はこれからですよ。

ただ、K・F・Aができたおかげで、みんな夢の持って行き場を得たのは事実です。一人の夢は夢で終わってしまいますが、人のつながりがあればそれを現実のものにできる。だから我々の力だけじゃないんです。我々はお釈迦様のの手に乗っている孫悟空に過ぎない。お釈迦様の手である市やさまざまな団体、そして消費者の方々への感謝を忘れてはいけません。感謝という原点に帰れば、また力も湧いてくるんです。

—— そうですね。モードピアを作られたわけですが、この名前の由来は？

## ■文化の理想郷 「モードピア」

川上 「モード」というのは単なる流行を意味するのではなく、センスに富んだ質の高い文化づくりをリードするものです。それと「ユートピア(理想郷)」を組み合わせて、「個性の香り高い文化を創造、蓄積していく理想的な都市」ということをうたっているわけです。

建設した目的は、もちろん企業のイメージアップもありますが、それだけではありません。ファッションタウンの中央にふさわしい「神殿」としての役割を担える場所が必要だと思つたんです。その公的使命を象徴しているのが「愛の讃歌」という群像で、そのもとで人々が交流しながら新しい文化が生まれる、その発

信源にしたいわけです。

私は、文化こそ民族の祖国だと考えています。神戸は戦災で多くの文化遺産を失いましたが、だからこそ文化を築くり継ぐべきです。美しい自然と多くの国の人々が住む神戸こそ、文化の街にふさわしい。ファッション産業は虚業だという人もいますが、それは狭い意味のファッション観だと思ふ。私は、文化的に豊かな生活へ人々をいざなうべく、全てをファッション産業だと思つています。

—— 最後に、今後の展望はいかがですか。

川上 K・F・Aの10周年記念の時に掲げた6大目標の中に「神戸ファッションダイヤモンドアベニュー」構想というのがあるんです。これは、山からフラワロード、さらにポーアイまでのストリートに、夜空に輝く星のようにファッション企業を立ち並べせよというものなんです。モードピアはその起点になるわけですね。これはぜひ実現させたい。

モードピアに関して言えば、今回の第一期工事に続いて、さらに隣の20坪の土地に第二期工事を施す計画を立てています。また、面積の20%ぐらいをテナントとして他の企業にも開放したいと思つています。もちろん、ファッションタウンのイメージアップになり、異なった個性と知恵を磨き合える企業に対してですが。

モード・ピアは、プロジェクトに参加してくれた方々の個性のハーモニーが作り出したものですが、同様に、次々とファッションタウンに参加してくれる企業や人々との出会いが、また新たな文化を創造していくと信じています。

ファッションタウンの中心部にそびえる「モードピア」と川上会長

